# 3.循環型社会の実現に向けた活動の展開

- ・ゼロエミッション達成に向けた積極的な3R活動の展開
- ・PCBの安全・確実な全量処理の推進
- ・グリーン調達の推進

# 循環型社会の実現に向けた活動の展開

関西電力グループ環境行動方針に基づき、当社は、事業活動から発生する産業廃棄物について、ゼロエミッション達成へ向けた積極的な3R(発生抑制、再使用、リサイクル)活動を展開しているとともに、コピー用紙をはじめとするオフィスごみなどの一般廃棄物についても、「分別」を基本に、各事業所で3Rの取り組みを展開し、減量・再資源化に積極的に努めています。

また、当社は保有するPCB廃棄物の特性に応じた、安全・確実な全量処理の推進、グリーン調達の推進、限りある水資源の適切な利用等に取り組んでいます。

当社が排出する主な産業廃棄物は、石炭火力発電所から発生する石炭灰や、配電工事に伴い発生する廃コンクリート柱のがれきなどです。当社は、ゼロエミッションを達成するため、こうした廃棄物について「リサイクル率99.5%以上」という目標を掲げています。

2017年度のリサイクル率は99.9%となり、2010年度から8年連続で目標を達成しています。また、オフィスから排出されるコピー用紙などの一般廃棄物についても、減量化やリサイクルに取り組んでいます。

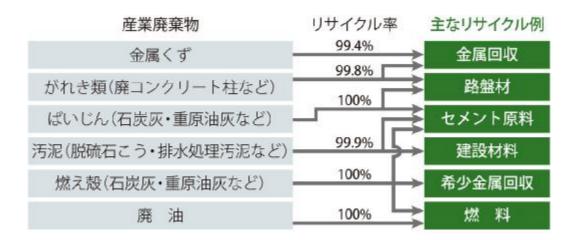
# ■産業廃棄物

### ○産業廃棄物などの排出量とリサイクル率の推移



産業廃棄物リサイクル率(%) = (産業廃棄物などの排出量-埋立処分量)/産業廃棄物などの排出量×100

### ○主な産業廃棄物などのリサイクル例



### ○碍子くずのリサイクル

従来の技術では破砕後の碍子くずが鋭利になり、用途が路盤材などに限定されていましたが、(株)関電L&Aが開発した研磨機により、角を丸めることが可能となり、園芸用石材などに用途が拡大しました。これにより、関西電力の碍子くずは高いリサイクル率を維持しています。



(株) 関電 L & A および当社は、資材循環技術・システム表彰「産業技術環境局長賞」を受賞しました。

### ○石炭灰のリサイクル

舞鶴発電所から排出される石炭灰をセメントの原料や道路の路盤 材等に全量リサイクルしています。石炭灰のうち、フライアッシュ から微細な球形粒子に調整したものはコンクリートに混ぜることで その強度を高めることができるため、主に橋などの土木・建築工事の コンクリート混和材として利用されています。 (株) 関電パワー テックでは、フライアッシュの販売活動を推進しています。



フライアッシュ

### ■一般廃棄物

当社は、事業所等から排出する一般廃棄物の3Rを推進するため「分別」を基本とした取組みを各所でおこなっています。

例えば本店では「分別」を効率的におこなうために各フロアに 「分別コレクタ」と「その他不燃物回収ボックス」を設置すること により個人のゴミ箱を撤去しています。



分別コレクタ(手前)と その他不燃物回収ボックス(奥)

### ○文具等の再利用(リユース)

当社の特例子会社である(株)かんでんエルハートと協力し、不要となった文具品の回収作業を行っています。不要になった文具品をかんでんエルハートのスタッフが回収し再利用できる状態にすることで、一般廃棄物の減量化に努めています

# PCBの安全・確実な全量処理の推進

PCB\*は絶縁性、不燃性などの特性を有し、化学的に安定していることから、1954年に国内で生産され、変圧器、コンデンサといった電気機器をはじめ、幅広い用途で使用されてきました。しかし、その毒性が社会問題化した結果、製造が中止され、PCBを使用した機器等の保管事業者には「PCB特別措置法」により、適正な保管および2027年3月末までの処理が義務付けられています。

当社は、PCB特別措置法など関連法令を遵守しながら、保有するPCB廃棄物の特性に応じ、安全・確実に全量処理をめざした取組みを進めています。低濃度PCB廃棄物のうち、柱上変圧器については「柱上変圧器資源リサイクルセンター」を設置し、絶縁油とケースの無害化処理をおこない、資源として再利用してきました。その結果、2015年7月末には、これまで保管してきた絶縁油および柱上変圧器ケースの処理が完了しました。その他の低濃度PCB廃棄物については、グループ会社の技術力などを活用し、効率的に処理を進めています。

また、PCBを絶縁油として使用した高濃度PCB廃棄物については、 国の基本計画に基づき中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO) に処理を委託しています。

※PCB: Poly Chlorinated Biphenyl (ポリ塩化ビフェニル)の略称のこと。電気絶縁性が高いといった特徴があり、変圧器用の絶縁油などに使われていた。生態系への影響があることから、製造・使用などが原則禁止になった。

# PCBの安全・確実な全量処理の推進

# **■グループ会社の取組み**(㈱かんでんエンジニアリング)

### ○国内初となる微量PCB廃電気機器の無害化処理認定を取得

(株)かんでんエンジニアリングは、2014年5月に、移動式溶剤洗浄技術としては国内初となる微量PCB廃電気機器の無害化処理認定を環境大臣より取得し、汚染機器の移動・解体を伴わない安全・経済的な無害化処理を行っています。今後も当社グループは国内のPCB処理推進に貢献していきます。



(㈱) かんでんエンジニアリングのPCB洗浄装置

# グリーン調達の推進

当社は循環型社会の構築に向けた活動を推進するために、関西電力グループグリーン調達マニュアルを制定しています。

### ○グリーン調達の基本的な考え方

- (1)調達する全ての物品や工事で使用する建設機械・工法が、 環境に対して何らかの負荷を与えているという認識を持ち、 可能な限り、環境負荷低減に配慮したオフィス用品や資機材、 建設機械・工法を購入・使用します。
- (2)物品の購入時には、その物品が本当に必要か否かの再考 (Rethink)を行うとともに、購入量の節減(Reduce)を検討 する。また、購入物品の長期使用および不用となった物品の 他所での再使用(Reuse)、再資源化(Recycle)、修理 (Repair)に努めます。

### 環境負荷低減に配慮した環境ラベルの一例







エコマーク

P Cグリーンラベル

国際エネルギースター